

# レギュラトリーサイエンス学会WEBシンポジウム

～個別症例安全性報告（ICSR）処理の効率化と今後の展開～  
AI活用とICHガイドラインの改訂（ICH-E2D(R1)）も踏まえて

主催：一般社団法人 レギュラトリーサイエンス学会  
日時：令和8年6月19日（金） 13:30～16:20  
開催方式：ZOOM

13:00 開場

13:30～14:00

講演1 PV分野でのAIを活用に関するCIOMS報告書のポイントと我が国での検討状況について（仮）

松永 雄亮（（独）医薬品医療機器総合機構医薬品安全対策第一部 調査役）

14:00～14:30

講演2 Utilization of AI for PV in FDA（仮）

Dr. Gerald Dal Pan (Director, Office of Surveillance and Epidemiology Center for Drug Evaluation and Research, Food and Drug Administration)  
※録画、通訳なし。適宜、進行役が要約を紹介

14:30～15:00

講演3 ICH-E2D (R1)で何が変わるのか（仮）

野坂 優佳（（独）医薬品医療機器総合機構医薬品安全対策第一部 主任専門員）

15:00～15:30

講演4 AI及びICSRの見直しに関するTransCelerateの活動について（仮）

井田 修（ノバルティスファーマ株式会社 開発本部 ディベロップメントクオリティ アシユアランス リージョナルヘッド（日本）ファーマコビジランスQA）

15:30～15:40 休憩

15:40～16:20 パネルディスカッション

進行役：宇津 忍（（一財）医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団）  
パネリスト：上記の講師4名＋中井 清人（（独）医薬品医療機器総合機構 安全管理監）

16:20 閉会

参加申込：学会ホームページ（<http://www.srsm.or.jp/>）

申込締切：令和8年6月18日（木）開催当日まで受付可

参加費：正会員：10,000円 若手会員：5,000円 学生会員：2,000円

非会員：15,000円（すべて消費税込）

連絡先：一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会 事務局

E-mail: [srsm-office@imic.or.jp](mailto:srsm-office@imic.or.jp)